

2007年3月期 決算説明会

内 容

1. 説明

- (1) 2007年3月期 業績の概況
- (2) 2008年3月期 展望と予想
- (3) トピックス 新製品紹介

2. 質疑応答

2007年5月25日

東洋インキ製造株式会社

本資料中の計画、予想は2007年5月25日現在の認識・前提にたっており、これからの国際情勢、経済事情、事業環境等に著しい変化があった場合には、実際の業績が記載と大きく異なる可能性があります。

2007年3月期業績概況

(単位:億円)

科目	2007年3月期	2006年3月期	増減率(%)	中間時予想
売上高	2,455	2,362	3.9	2,500
営業利益	119	132	▲9.8	135
経常利益	122	141	▲13.4	135
当期純利益	79	63	25.7	75

- 原料費の高騰、液晶関連の在庫調整
- アジア、中国、北米の伸長
- 欧州の低調

(単位:億円)

科目	2007年3月末	2006年3月末	増減率(%)
流動資産	1,522	1,555	▲2.1
固定資産	1,552	1,498	3.6
資産合計	3,074	3,053	0.7
流動負債	1,074	946	13.5
固定負債	365	524	▲30.3
負債合計	1,439	1,470	▲2.1
純資産合計	1,635	1,583	3.3
負債純資産合計	3,074	3,053	0.7

(単位:億円)

科目	2007年3月期	2006年3月期
ROA(%)	2.58	2.18
ROE(%)	5.14	4.54
有利子負債	636	734
自己資本比率(%)	50.7	49.6
設備投資	180	139
減価償却費	117	116
連結子会社(数)	66	63
持分法適用関連会社(数)	8	8

事業別セグメントの業績 (1)

	2007年3月期		2006年3月期		(単位:億円)
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	
1.印刷インキ	1,013	84	938	84	
2.グラフィックアーツ 関連機器および材料	329	10	336	9	
3.高分子関連材料	468	39	445	34	
4.化成品および メディア材料	616	91	604	107	
5.その他	93	2	107	3	
消去又は全社	▲63	▲107	▲68	▲105	
連結 (増減率)	2,455 (3.9%)	119 (▲9.8%)	2,362	132	

事業別セグメントの業績 (2)

■ 1.印刷インキ

(単位：億円)

	売上高	営業利益
2006年3月期 実績	938	84
2007年3月期 実績	1,013	84

- ❖ 海外（中国・東南アジア・北米）が好調に拡大
- ❖ 原料費高騰に対応し、グラビアインキでは一部価格修正
- ❖ 顧客へのトータルソリューション提案とコストダウン施策の実施（品種統合・ロジスティクス改善等）

■ 2.グラフィックアーツ関連 機器および材料

(単位：億円)

	売上高	営業利益
2006年3月期 実績	336	9
2007年3月期 実績	329	10

- ❖ CTP用版材が好調
- ❖ アライアンス活用による購買力の強化、デジタル印刷機の拡販

事業別セグメントの業績 (3)

■ 3.高分子関連材料

(単位：億円)

	売上高	営業利益
2006年3月期 実績	445	34
2007年3月期 実績	468	39

- ❖ エレクトロニクス・FPD分野向け高機能製品が伸長
- ❖ 缶用塗料が中国・東南アジアで好調
- ❖ 原料費高騰に対応し、一部価格修正を実施

■ 4.化成品およびメディア材料

(単位：億円)

	売上高	営業利益
2006年3月期 実績	604	107
2007年3月期 実績	616	91

- ❖ CFレジストインキが顧客の在庫調整により低調
- ❖ 高機能顔料・分散体、産業用インクジェットインキが好調
- ❖ 天然物由来製品事業拡大に向け、北海道新工場で生産開始

所在地別セグメントの業績

	2007年3月期		2006年3月期		(単位：億円)
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	
1. 日本	1,937	91	1,913	105	<ul style="list-style-type: none"> ● 印刷インキ堅調 ● CFレジストインキ低調 ● 原料費高騰が継続
2. アジア オセアニア	542	30	467	24	<ul style="list-style-type: none"> ● 中国・東南アジアで印刷インキ、高分子関連材料が大きく伸長 ● プラスチック着色剤の新拠点立ち上げ (タイ・ベトナム)
3. ヨーロッパ	78	▲12	75	▲6	<ul style="list-style-type: none"> ● 汎用顔料の市場環境悪化に伴う事業整理を実施 ● 新規事業への投資を推進し、償却費増。
4. 北米	117	5	114	2	<ul style="list-style-type: none"> ● 印刷インキと着色剤で、販売強化による拡販が進み好調
連結 (増減率)	2,455 (3.9%)	119 (▲9.8%)	2,362	132	

※決算期：日本は4～3月、海外は1～12月



2008年3月期 展望と予想

2008年3月期経営方針

[1]独自のコストダウンをグローバルな視点とトータルS C Mの視点で強化推進する

■コストダウン手法の水平展開とグローバル最適生産の推進

[2]日本発の企業グループ独自の新しいモノづくりを展開させ、グループのあらゆる部門で開発、開拓、拡張のバックアップを行う

■マザー工場を起点としたテクノロジーの発信、トータルS C Mの提案

[3]ビジネスユニットごとに成長モデルを生み出し、最大の売上と最高の収益を達成する

■スペシャリティケミカルメーカーへの進化の助走

2008年3月期業績予想

(単位:億円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
2006年3月期	2,362	132	141	63
2007年3月期	2,455	119	122	79
2008年3月期 (増減率)	2,550 (3.9%)	140 (18.0%)	142 (15.9%)	70 (▲11.4%)

(単位:億円)

	ROA(%)	ROE(%)	有利子負債	自己資本 比率(%)	設備投資	減価償却費	連結 子会社(数)	持分法適用 関連会社(数)
2006年 3月期	2.18	4.54	734	49.6	139	116	63	8
2007年 3月期	2.58	5.14	636	50.7	180	117	66	8
2008年 3月期	2.30	4.49	650	51.8	150	130	66	8

事業別セグメントの予想 (1)

(単位：億円)

		1.印刷インキ	2.グラフィック アーツ関連 機器および材料	3.高分子 関連材料	4.化成品 および メディア材料	5.その他	消去又は 全社	連結
2006年 3月期	売上高	938	336	445	604	107	▲68	2,362
	営業 利益	84	9	34	107	3	▲105	132
2007年 3月期	売上高	1,013	329	468	616	93	▲63	2,455
	営業 利益	84	10	39	91	2	▲107	119
2008年 3月期	売上高 (増減率)	1,080	330	480	640	90	▲70	2,550 (3.9%)
	営業 利益 (増減率)	87	10	42	106	2	▲107	140 (18.0%)

事業別セグメントの予想 (2)

■ 1.印刷インキ

(単位：億円)

	売上高	営業利益
2007年3月期 実績	1,013	84
2008年3月期 予想	1,080	87

- ❖ コストダウン活動の強化推進
(品種統合、原料見直し、生産革新、輸配送改革)
- ❖ 高機能・環境対応製品による販売拡大
- ❖ アジア成長地域における事業拡大の継続

■ 2.グラフィックアーツ関連 機器および材料

(単位：億円)

	売上高	営業利益
2007年3月期 実績	329	10
2008年3月期 予想	330	10

- ❖ 印刷の情報サービス化に対応した資機材の販売強化
- ❖ アライアンスの継続強化

事業別セグメントの予想 (3)

■ 3.高分子関連材料

(単位：億円)

	売上高	営業利益
2007年3月期 実績	468	39
2008年3月期 予想	480	42

- ❖ 生産革新とトータルSCMへのシフトによる収益改善
- ❖ 日本、韓国、台湾、中国でエレクトロニクス（FPD・FPC）向け高機能製品の販売拡大
- ❖ 高付加価値分野の塗加工事業を拡大

■ 4.化成品およびメディア材料

(単位：億円)

	売上高	営業利益
2007年3月期 実績	616	91
2008年3月期 予想	640	106

- ❖ CFレジストインキのシェア拡張
- ❖ 高機能顔料・分散体、IJインキ事業の継続拡大
- ❖ 欧州における汎用顔料事業の整理と高機能顔料事業への転換を加速
- ❖ 着色剤事業のグローバル生産体制拡充
(タイ・ベトナム・欧州・北米)

所在地別セグメントの予想

	2008年3月期		2007年3月期		(単位：億円)
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	
1.日本	1,970	107	1,937	91	
2.アジア オセアニア	610	37	542	30	
3.ヨーロッパ	65	▲15	78	▲12	
4.北米	125	6	117	5	
消去又は全社	▲220	5	▲220	5	
連結 (増減率)	2,550 (3.9%)	140 (18.0%)	2,455	119	

欧州事業

- 今期汎用顔料事業の整理に伴う一時的な再構築費用発生
- 印刷インキ・高機能顔料・着色剤事業を拡張
- 新規事業の設備投資に伴う償却が発生

新製品新事業(NP21)売上高

ドメイン別主要新製品	2007年3月期実績	2008年3月期目標
環境調和型印刷・包装資材材料事業	205億円	220億円
次世代主力オフ輪インキ 広演色オフセットインキ 環境対応ラミネートグラビアインキ 高速印刷機用新聞インキ 他		
機能性材料事業	102億円	110億円
FPD・FPC関連製品群 自動車向け機能性粘着剤 メディカル用粘着剤・シート 次世代型缶用塗料群 天然物由来製品群 他		
電子・情報材料事業	255億円	300億円
CFレジストインキ 産業用IJインキ材料 機能性プラスチック着色剤 有機EL 他		
合 計	目標 560億円→562億円	630億円



トピックス 新製品紹介

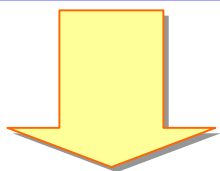
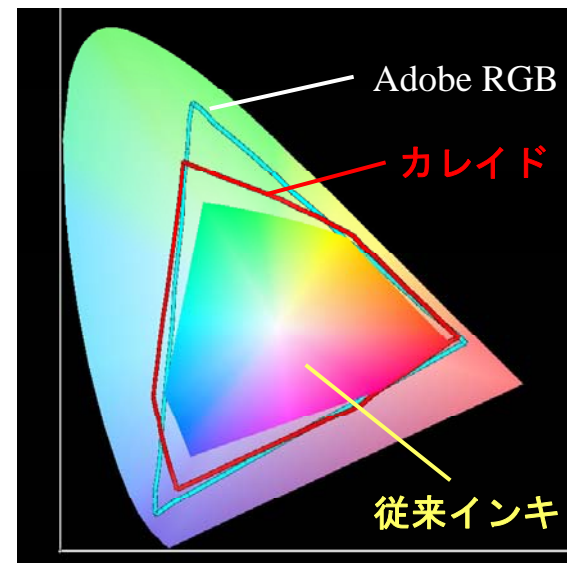
広演色オフセットインキ カレイド

背景とコンセプト

- 印刷物デザイン/企画分野の環境変化
 - ・ デジタル化普及によりRGBワークフローでの制作
- 印刷物の高品位化・多色化

新しい付加価値印刷を実現

- 4色印刷でもAdobe RGB空間に近い色再現が可能
- 新規の顔料・樹脂による色再現領域の拡大



広演色インキ 「カレイド」の提案

K|a|l|e|i|d|o
TOYO KING Hy-Unity SOY

製品の特長

4色で高彩度の印刷が可能
(Adobe RGB空間に近い色再現)

多色印刷に比べて低コスト
(設備・ランニングコスト)



100社以上の採用実績

FPD用光学粘着剤 リオオプトシリーズ

市場動向

偏光板の大型化と
高コントラスト化

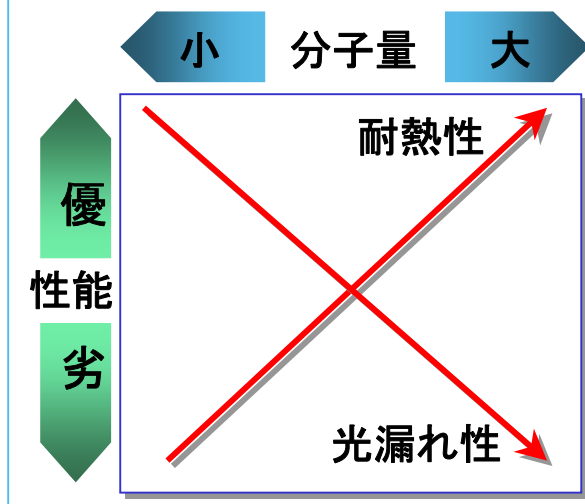
開発コンセプト

耐光漏れ性と耐熱性の有る
大画面光学用粘着剤

製品の特長

- 光漏れ性に優れた新規大画面偏光板用粘着剤
- 優れた帯電防止機能

設計方針



独自の非アクリル系新規ポリマーの開発に成功

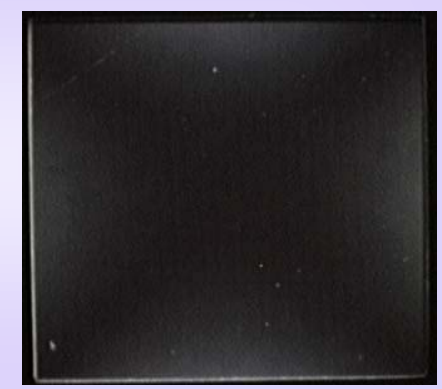
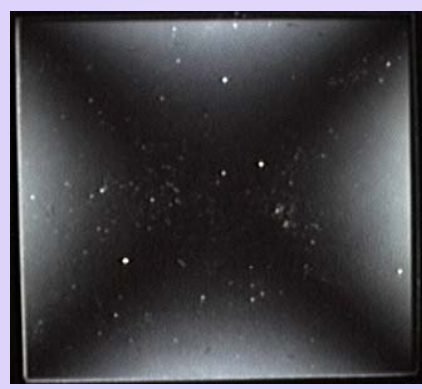


光漏れと耐熱性の両立

従来品

光漏れ性

リオオプト



RFID用印刷アンテナ材料 レックスアルファ SPシリーズ

市場の動向

RFIDタグ利用の増加

- 次世代物流管理
物流コスト・情報管理
- トレーサビリティ
- 偽造防止

開発コンセプト

- エッチング法から印刷法による量産化



低コスト化
環境負荷低減

- 高精度印刷

薄膜(3 - 10 μ m)・低抵抗
の新規銀ペーストの開発に成功

高精細印刷システムを
併せて開発

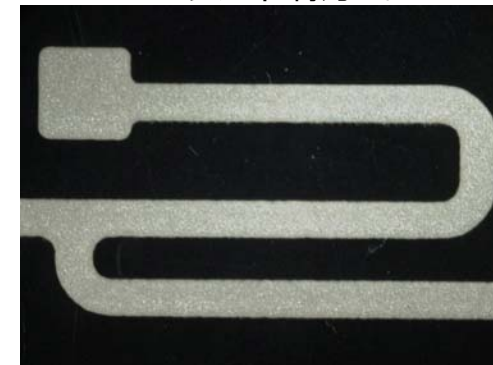
製品の特長

- 高速印刷方式対応(スクリーンからフレキシソ印刷まで)
- エッチング方式に匹敵する性能

スクリーン印刷方式



フレキシソ印刷方式



印刷速度

